様式第3号(第8条関係)

| 発言者 | 会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等) |
|-----|----------------------------------|
| | 1 開会のことば |
| 教頭 | 皆様、こんにちは。本日は公私ともご多用のところお集まりいただ |
| | きありがとうございます。また日頃より本校の教育活動にご支援、ご |
| | 協力を賜りましてありがとうございます。 |
| | これより、令和7年度 加須市立北川辺西小学校 第1回 学校運 |
| | 営協議会を始めます。 |
| | また、開会に当たりまして、本会議は、加須市審議会等の会議の公 |
| | 開及び会議録の公表に関する要綱に基づきまして、会議を公開するこ |
| | ととなっておりますこと、本日の会議の会議録につきまして、後日、 |
| | 本校のホームページで公表させていただきますこと、あらかじめご報 |
| | 告申し上げます。 |
| | 2 校長あいさつ |
| 校長 | 皆様、改めましてこんにちは。空が晴れ渡り、校庭にはこいのぼり |
| | が掲揚塔の所にあがっています。このような天気のよい日に第1回の |
| | 学校運営協議会を開催できますこと、大変うれしく思います。 |
| | この会議に対しましては、校長としては皆様方が私の後ろ盾になっ |
| | てくださると思っています。また、いろいろなお知恵を今後いただけ |
| | たらと思っておりますので、熱心なご協議や考えをお聞かせくださ |
| | い。本日はどうぞよろしくお願いします。 |
| 各委員 | 3 委員自己紹介 |
| | 4 委嘱状交付 |
| | 5 校内一巡 |
| | 6 会長・副会長選任 |
| | 7 説明 |
| 校長 | (1) 令和7年度学校経営方針について |
| | グランドデザインを元にご説明させていただきます。 |
| | まず、本校の教育活動の指針は田中正造翁の「教をは おさな心に |
| | おさむべし 老て我身の罪に悔るな」を掲げてございます。その下に |
| | 学校教育目標「進んで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子」、さ |
| | らに校訓「のびよ きたえよ 心とからだ」があります。この中の学 |
| | 校教育目標が特に中心となると考えています。 |
| | それを受けて、私が考えている目指す学校像を「ひとみ輝き笑顔あ |
| | ふれる学校」とし、今年ここは変えさせていただきました。子供の目 |
| | が好奇心にキラキラ輝いている、先生方の目も輝いている、保護者や |

地域の方のひとみも輝いていていろいろ関わり合いの中で笑顔があ
ふれるそんな学校にしていきたいなと考えています。

目指す児童像として、本校児童は第一歩が踏み出せない面があると感じていたので、「まずはやってみよう」と、挑戦できる子にしたいと思っています。そして、まずはやってみると言うことはそこに必ず失敗がついて回ります。「失敗をしてもいいんだ」と学校全体で共有しながらいろいろなことに挑戦させていきたいなと考えています。そのためにはまず担任がそういう意識でいてもらいたいと、先生方には常々話をしているところです。

そして目指す教師像は、「子供が主人公と考えられる教職員」になってほしいという思いをこめています。その行事は子どもたちにとってどうなの、とか、その言葉かけは子供を中心に考えたときはどうなのとかそこにいつも立ち返ることができる先生方であって欲しいと考えています。

重点目標として知・徳・体の3点を挙げています。

知の部分は自ら進んで計画的に学習に取り組む子としました。また、交流を通して伝え合いながら互いに高め合う子としました。主に高める内容としましては、日々の授業。今年度は算数の授業を研修課題に掲げています。そこで先生方に話したのですが、目に見えない部分、例えば学力テストで出ない部分が本校児童は足りていないのではないかというのがありますので、先生方もそこに目を向けて欲しいと言うことで話しました。例えば、定規での線の引き方、消しゴムの使い方、重さや長さの捉え方、そういった具体的な物を想像できるような力をつけていきたいと考えて先生方に言葉かけをしています。そのような力は学力テストの点数には表れませんが、とても大切な価値だと思っていますので、力を入れていきたいと考えています。

2番目は思いやりのある子。十分できていますがさらにプラスして あいさつの力をもっとつけていきたいなと考えているのと、相手意識 を持たせてあげたいなという風に考えています。それを持たせて思い やりのある子に育てていきたいとしています。

3番目はたくましい子。ここはなかなか厳しいと考えています。体育の授業で運動量を確保することがメインになると思っています。今までは業前や放課後の運動を教育課程の中に位置づけてやっていた面もあるのですが、そこの部分がカットされてますので、本当に授業の中で思い切り心臓を動かして汗をかかせてあげないと厳しいのかなと思って先生方にお願いしようと思っているところです。

学校経営方針につきましては、目指す学校像のところで話した内容 がグランドデザインに書かれています。

本年度の努力点は、着実な学力向上を図る学習指導の工夫、地域保 護者に認められる心のこもった元気なあいさつ、豊かな心を育む体験 活動、環境教育、道徳・人権教育の推進。昨年度は田口さんが気球体 験をさせてくださったり山中翠谷先生が大筆の実演を見せてくださ ったりとやってくださいました。今年度につきましては、下總 皖一コ ンサートで地域の方の歌声を聞くことを考えています。本物に触れ て、心が動くような体験をたくさんやらせてあげたいという思いがあ ります。4個目が体力の向上と健康・安全教育の徹底。子どもたちが 一生懸命安全に気をつけていても今命が奪われている。慎重の上にも 慎重を、自分の命を守るためにより慎重に生活するようにと、そんな ところも育んでいきたいなと思っています。美しく潤いのある教室環 境の整備・充実、すごくいい教育環境をいただいています。校庭も広 いですし校舎もきれいです。ですので、これを維持しながらより潤い のある物にしていきたいと考えています。また ICT 教育。ICT 教育も 大切ですが、やはり手を使った物、ノートに書くとか、そういうこと も大切だと思いますのでハイブリッド、両輪で取り組んでいきたいな と思っているところです。

グランドデザインにつきましては、おおむねこのような形で進めたいと思います。また第2回、第3回においてまたお気づきになった点、ご意見ございましたら、取り組んでいきたいと思っていますので、またご示唆くださいますようお願いします。

(2) 令和7年度教育活動について

本校の年間行事予定表に沿った説明

ふれあい遠足が午前中だけになってしまったのは、給食の関係など があるのでしょうか。

給食もありますが、距離が短くなったということがあります。かつては遊水地の奥の方まで歩いていましたが、1年生が入学後間もない時期に長い距離を歩くのが負担であるので距離を短くしたと言うことを聞いています。半日の実施になって5年目になります。

昔はお昼をみんなで現地で食べていました。実施時期も1年生を配慮して秋だったのですが、いつの間にか春になって、1年生を心配していたんだけど、距離を短くしたのですね。

奥まで行くとトイレの数が少ないという問題もあったので、手前の グラウンドだったらすぐ道の駅のトイレを使えるので、そういったこ

茂呂

福地

茂呂

福地

茂呂

とも考慮して場所を考えました。

8 協議

柴田

まず、そもそも学校運営協議会で何を行うかについての説明はありますか。そこの意識統一を図りたいです。

校長

校長として、今年度地域と保護者と学校で協力していきたい目玉は「よりよいあいさつ」と「学力向上」の2点を重点と考えておりまして、それに対して学校・地域・家庭をあげてどのように取り組んでいくかということを議題の一つにして欲しいです。

(1) あいさつについて

柴田

あいさつに関しては、単純に「子どもたちがもっとあいさつできるようにしたい、そのためにどうしようか」というところですが。

髙橋

PTAでは毎月1回校門であいさつ運動を行っています。プラスで「埼玉県一のあいさつ」ができるようになることを目指すならばもっと違うアイデアがあるといいと思います。ただあいさつはすごくできていると思うのでさらなる高みを目指すのであればどのような形であいさつができるのかということをもっと工夫していく必要があると思います。具体的にすぐアイデアが出せるわけではないですが、「埼玉県一のあいさつ」の指針を作るのもいいと思います。

福地

毎朝何年も登校指導で立っていて、自分も校長時代にあいさつについて取り組んできました。その中で非常に難しさを感じています。学校の中でやっていても、一歩別の場に出たときにあいさつをしているかというと全く別問題。校長が替わってあるとき非常に取り組んであいさつをする子が増えた時期もありました。でもやがてまた廃れる。一つは学校の取組の熱意というものもあるかもしれないけど、なかなか定着しきれないです。現状は正直あまりしていないと感じています。

2つ面白いことがあって、ある班がすごくよくする。1年生が3人 入ってきたが1年生もよくする。ということは、その班にあいさつを しようという何かが定着しているのではないか。卒業したお兄ちゃん 達もよくあいさつしていました。その子の教えや実践している姿が生 きているのかもしれない。もう一つは、小学校の時にあいさつをしな かった子どもたちも中学生になるとみんなあいさつをするようにな る。これは、部活がらみの先輩にあいさつはするもんだという空気、 文化じゃないのかなと感じています。そういう文化や空気を定着させ ることを本気で考えないといくら形だけの指導をしても難しいんだ ろうなと思います。つい学校の中で取り組むとできるようになったか どうかを見ているのは教員がほとんどになってしまうじゃないですか。教員の前でやっていても、あるいはPTAの方が立っていてPTAの方にはあいさつをしていても、それ以外では本当は進歩していないのかもしれないです。それを忘れないで取り組んでいかないと、形だけの空振りになりそうな気がしています。

朝時々、集合場所から駅前の信号のところまでついていくことがありますが、自分の班の子はあいさつしてくれます。他の班の子はすれ違っても「おはよう」と声を掛けても返ってこないし横断歩道に立っている保護者もあまりあいさつしないですね。昔と違いますね。昔は誰かしら保護者の方が子どもたちについて行って、「おはようだよ」と言ってくれていた人がいて、自分もやっていましたけど。あいさつを促す保護者の方がいるといいのですが。旗当番の保護者もあいさつが少なくなっているように感じます。

学校だけの取組ではなくて家庭で親が率先してあいさつするようにしていかないと、学校だけでは解決しないかなと思います。 PTA も一緒になって取り組んでいけば盛り上がるのではないでしょうか。

元気がない子が増えたように思います。学校に行くことが楽しいのか・・・。元気がないから声も出ない。実はあいさつの裏に何か問題があるのかもしれないですね。

自分があいさつを掲げているのは、あいさつの声を出して欲しいというわけではないんです。「自分はここにいるんだよ」「あなたいるね」というのがあいさつだと思っているので、これは学校ではできるんですが、お家でもそれをやって欲しいです。あいさつも「おはよう。今日どう?」って親御さんにはお子さんの顔を毎日1回見て欲しいです。忙しい中でも、その一言で子供についての理解を深めるとか子供についての思いを確認していただきたいというのがあいさつについての思いです。

学校で職員に言っているのが、「おはよう。今日風強かったね。」と一声かけて欲しいということです。そういうことで理解を深めて、学校に行けば先生がいるから、何かあれば父、母に言えばなんとかしてくれるからという積み重ねにあいさつを持ってつなげていきたいのが私の思いです。大きな声であいさつして大きな声で返ってくるのも楽しいかなとも思います。

小学校の時教えていた子が、高校生になって大きな声であいさつしてくれたとき、うれしかったですね。されると気持ちよかったですよ。 「覚えていてくれたの」って。

岡田

島崎

福地

校長

福地

「あいさつ運動」というよりも、「声かけ運動」とミックスして「あいさつ・声かけ運動」みたいに進めていった方がいいかもしれないですね。大人の声かけの方が足りていないんだと。声かけの一つが、あいさつなんだよと。意思疎通の方法なんだよというのを念頭に置いてやっていったらどうですかね。

(2) 学力向上について

田岡

学力って結局親が一緒にやってあげないと子供だけではなかなかできないと感じています。私の子供は、自分が仕事から帰ってきてから一緒にやりました。解き方がわからないときは、親が学校にやり方を聞きに行ったこともあります。

髙橋

「文武両道」が一番いいと思います。昔と違ってスポーツ推薦も学 校の成績を加味して特待推薦が決まるようになってきています。

勉強に対してもどうやって課題解決していくか、子どもたちに学校 や家庭から意識付けしていくことが大事だと思っています。

「低学力」といっても、何をもって「学力」がたりないとしていますか?

学力の尺度の一つが県学力学習状況調査、全国学力学習状況調査、 単元テストで表すことが多いですが、その結果をもって低学力とうち の学校は加須市の中で言われていると思っています。

ただ私は見えない部分の学力も県学調では言われていて自己有用感、課題に向かう力、相手の意見を素直に聞く力など、ペーパーテストでは点数に表れない力ですが、本校は平均より上の力があると思っています。話を聞くことも前よりできるようになってきていると思っています。講話朝会の時に数字を出したり冗談を入れたりすると、今まで反応がなかった高学年の子どもたちが笑った。話を聞く力が育ってきているなと感じました。家の人も学力が低いと言われたときに、おそらくテストの点数で見ているのではないかと思っています。

先日番組で聞いていて、そうだな、と思ったのは、知識に関しては、これからは全部AIがやってくれると。では私たち人間が生きていく上で必要とされる学力とは何かといわれると、「問いを立てる力」だと言っていました。「どうしてこうなったんだろう?」「これがこうなったらどうなるんだろう?」という問いを立てる力がこれからの学力と言われていますとのことでした。学校で教室に子どもたちがいる意味とは正にそこだと思います。お友達と僕の意見を言ったときにお友達が「何でそう思ったの」とか友達は「何でそういう風に考えたのだろう」と感じることが学力なのではないかというふうに私は思っていま

福地

校長

す。だからそこの力を授業で伸ばして欲しいと先生方に言っています。あとは想像する力も学力なのではないかと思っています。プールの絵を描いて、25□と書き、□の中にどんな単位が入るかについて話したとき、ミリメートルって入れたらどう?って子どもたちに聞いたら、「そんな小さなプールは入れません」と返ってきて、「あ、想像できているな」とわかります。その想像する力をつけてあげるのが私たちかなと思います。授業の中で先生方にやって欲しいところです。家の人にもその部分を理解してもらわないといけないから、お家の人に説明しなければならないかもしれないですね。

福地

本来、学力を育てられるのは学校であると思います。だから授業の質を高めなければならないと思います。学校で考えている学力はテストの点に表れる部分だけではないということであれば、そういう面で授業の質を変えていかなければならない、教員の腕を上げていかなければならない。それを発信していくそれを家庭に理解してもらう本来家庭は学力指導の場ではないですから。学力向上は親から託されている。だからつけたい力を明確にしていただいて、教員に徹底して授業の質を上げていくそのことを発信して理解してもらう、親が理解した上で家庭で学力に関する言葉かけができるようになると思います。スタートは授業の質。「分かっている」ことと「できる」ことは違いますから、教員が頭で理解してもそれが授業に生きるかは別ですね。

校長

菅谷

島崎

忘れ物しないことも、初歩的なことかもしれないけど立派な生きる力で、学力ですよと。野球の試合でグローブ忘れる、スパイクを忘れるのと同じですから。

家庭とともになんだけれども、学校が主体となって、学校を中心と して家庭とともに両面で学力向上を目指して欲しいです。

9 教育委員会よりあいさつ

教育委員会より1点ご連絡をさせていただきます。加須市では、小中学校のあり方について検討を進めております。今年度から教育委員会の中に、小中学校の適正規模適正配置について選任で業務に当たる「魅力ある学校づくり推進室」を新設しました。今、基本方針の策定作業を進めております。策定に当たっては保護者の方や地域住民の方の十分な合意形成を図りながら進めていきたいと考えております。今後学校運営協議会委員の皆様にもご意見をいただきたく機会を設けますのでその際にはぜひご協力をいただきますようよろしくお願いします。

| | 10 閉会のことば |
|----|--------------------------------|
| 教頭 | 以上で令和7年度第1回学校運営協議会を閉会いたします。ありが |
| | とうございました。 |

会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和7年5月14日

署名 _____教頭 石﨑 雅俊

(注) 特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。